



一般社団法人 CEPAジャパン

「生物多様性の主流化」に向けた CEPA (広報・教育・普及啓発) の強化

一般助成

1年目

知識の提供・
普及啓発

生物多様性に配慮した
商品の事例収集 **500件**

CEPAさんぽツール作成 **1件**

活動の全体目標に
対する達成度 **30%**

課題

愛知目標1達成のため、関係者と協働し、「容易な言葉」で「優良事例をツール化」して展開し、「日常の行動で常に生物多様性に配慮」できるための行動変容を促す。

活動内容

- ①日本固有の生態系の研究を活かした生物多様性の主流化の加速:関係者会合2回・事例収集3回・国際会議参加3回を実施した。
- ②生物多様性と共生するレジリエンスの高い地域づくりの拡大:グリーン復興会議/活動12回・事例収集8回を実施した。
- ③生物多様性に配慮した購買行動の促進:生物多様性配慮事例収集500件・いきものぐらしWEB事例紹介50件・イベント3回・CEPAさんぽツール作成を実施した。



「CEPAさんぽ」で
身近な生物多様性を発見

今後の課題

遅れているグリーン復興及び教育用のツール開発の巻き返しが課題である。リソース不足が原因であるため、スタッフのスケジュールの確保および外部リソースの活用を進める。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・地域CEPA拠点の立上げに向け地元・関係者との関係性構築。CEPAツール開発。
- ・南三陸町プロジェクトにおける行政と連携した地元の生業づくりの支援推進。
- ・生物多様性に配慮した商品500事例を収集。

工夫

地域での取り組みにおいて行政・地域住民・関係者との連携を強化し、企画の立案・実施において協働した。